

第36回「産学官交流」講演会・交流会

主催：静岡市 企画運営：清水商工会議所・しみず新産業開発振興機構

第36回（本年度第1回）のご案内を申し上げます。

今回は、東海大学海洋学部から下記のような内容でご講演いただきます。大学の一部を知ると同時に、先生方との交流も持っていただき、今後の企業活動に活かしてもらえればと考えます。多数のご来場をお待ちしております。

学 校	東海大学海洋学部		
開催日時	4月27日（金）		
	講演会	17:00～18:30	交流会 18:30～19:30
会 場	講演会	清水商工会議所 3階 研修室	
	交流会	同 上	7階 産学交流サロン
講 演	『清水のシロウオは復活可能か？』～シロウオの生態と増殖技法～ （産学連携のマグロの陸上養殖についても紹介） 海洋学部 水産学科 秋山 信彦 教授		

参加料 無料（交流・懇親会参加者は1,000円 軽食・飲物を用意いたします）

定員 60人

申込方法 下記申込書に記入してFAX、Mailで申し込み下さい。

事務局 清水商工会議所 新産業振興室（担当：相磯、赤堀、白澤、見城）

TEL：（代）054-355-5400 FAX:054-340-5117(専用)・352-7817 mail:info@nio-s.net

※ 学校側との、積極的な交流を図るためにも、ぜひ交流会までご出席下さい。

※ 尚、申込書にご記入いただいた情報は、当日名簿として配布するほか、商工会議所からの各種連絡・情報提供に利用する事がありますことを、ご了承下さい。

第36回「産学官交流講演会・交流会」参加申込書（東海大海洋学部）

平成19年4月27日（金）開催

事業所名		
参加者名		
所属・役職		
講演会	参加・参加しない	参加・参加しない
交流会	参加（有料）・参加しない	参加（有料）・参加しない
住所		
TEL		
FAX		

新産業振興室（相磯、赤堀、白澤、見城） FAX 054-340-5117

講演 『東海道名物、清水のシロウオは復活可能か？』

海洋学部水産学科 秋山信彦 教授

早春の風物詩と言われて、“踊り食い”で有名なシロウオを思い浮かべる人はかなりの食通かもしれない。一般に踊り食いで有名なのは福岡の室見川である。しかし、この清水の地も昔は有名なシロウオ産地だった。東海道の名物にはいろいろあるが、その中で“由比のサクラエビに清水のシロウオ”と言われていたそう。現在でも由比のサクラエビは有名で、国内で漁獲できるのは駿河湾だけである。一方、シロウオと言うと、大分・山口・愛媛・三重・福井・新潟・青森など全国各地で細々と漁獲されているが、東海道では見当たらない。福岡も漁獲量が減少し、現在では大分、福井などから購入して地元産と称して食べさせている。

このシロウオは通常、海で生活しているが、産卵前に川を溯上し、下流域の砂礫底で巣を作って産卵する。その、溯上時期が3月から4月にかけてであるために早春の風物詩となったわけである。各地で独特な漁獲方法によって漁獲されているが、清水ではその昔、巴川の河口で四手網によって漁獲していたそう。これを政財界の大物が毎年楽しみにしており、その時期にわざわざ清水まで来たそう。現在ではどうかというと、興津川などで意外にも復活可能なほど残っている。すこし工夫すれば漁獲対象物にまで増殖させることが可能である。全国へ出荷というほど大きな市場とはいかないが、早春の風物詩として、地域観光特産品としての価値は十分ある。シロウオが再び清水の観光名物になる日は来るのだろうか？

本講演では清水の地域資源復活を目的として、『シロウオの生態と増殖技法』などを概説する。また、今話題になっている『マグロの陸上養殖』についても現状を一部紹介します。

